

岩手労働災害防止団体連絡協議会では8月6日(金)臨時運営会議を開催し、9月29日の岩手県産業安全衛生大会を開催することで意思統一してまいりました。加えて、岩災防団体発第25号(令和3年8月6日付)文書第7項にあります、岩手県への非常事態宣言又はまん延防止等重点措置区域が発令された場合、開催を中止することも確認しております。

岩手県は昨日(8月19日)対策本部員会議を開催し、19日現在で県内は直近1週間の新規感染数(対人口10万人)が過去最多の25.2人となり、政府の分科会が示すステージ4(爆発的感染拡大)の「25人」を初めて上回りました。国への要請は対人口10万人が「30人」に達する時期を目安として、国へのまん延防止等重点措置区域を要請する準備に着手しました。

今後、岩手県内の今後の感染状況を考慮すれば今後1週間間に発令要請の見込みとなります。これに先立ち岩手県は8月12日「岩手緊急事態宣言」を発令しました。

このような状況を勘案すると9月29日開催予定の表記大会は中止せざるを得ませんのでお知らせいたします。(岩災防団体発第26号8月20日付)

岩手労働災害防止団体連絡協議会に加盟する各団体の会員の皆さまには残念ながら2年連続の大会中止となりましたが、今後とも、岩手労働災害防止団体連絡協議会に対しますご理解・ご支援をお願い申し上げます。

岩手労働災害防止団体連絡協議会
会長 近藤 一 英